

第114回例会 1961.9.12 (火) 晴 秋の虫 (斎藤求画伯)

例会場 鶴岡市一日市町 ひさごや (707番)
 事務所 鶴岡市馬場町十日町口 商工会議所内 (1563番)

次回例会

9月19日

卓話予定 「医傑 大森先生を偲ぶ」

上山RC 宇留野勝弥

幹事報告

○会報到着

横浜RC、新津RC、郡山RC、青森東RC
 弘前東RC、村上RC、石巻RC

○例会場変更及び休会通知

東京西北RC 10月2日より パレスホテル 毎月
 東京銀座RC 9月23日 国民祝日のため 休会
 和泉RC 9月13日より 和泉市民会館 毎水

出席報告

本日	会員数	40名	佐藤(貞)君、安藤君、長谷川君、今間君、金井(勝)君、海東君、大野君、佐藤(寅)君、田中君、手塚君、石井君
出席	出席数	28名	11名
出席	出席率	70%	

前回	出席率	82.5%	メ	大野君、田中君、
修正	出席数	名	ク	金井(勝)君
修正	出席率	87.5%	ツ	
			ブ	

○司会 三浦会長

○ゲスト

岩網君 吉村君
 村田君 岡崎君
 三井君 武田君

以上の方々をゲストとして迎える。

○ビジター

秋元君 (山形RC)
 相馬君 (酒田RC)
 高野君 (ク)
 佐藤君 (ク)
 加藤君 (ク)

○ソング それでこそロータリー (リーダー 広瀬君)



国際ロータリー第352地区年次大会の概要

会長 三浦岩治郎

本クラブよりの出席者は、三浦(全夫人)、小花、小池五十嵐、佐藤(仁)の6人である。

9月8日5時、盛岡市岩手県公会堂で各クラブより2入

集合し、今後の会の運営を円滑ならしめるため懇談会を開催、8時終了。

9月9日10時より開会、R・I会長代理及び来賓の紹介（佐藤ガバナー）の後ホストクラブ会長、岩手県知事及び盛岡市長の挨拶。

R・I会長代理小林雅一氏のメッセージ即ち、行動に努めよ、理解に途を求めよ、指導力を高めよ、と叫び、更に「真の知識は遠くはなれた所にあるものを知る事ではなく、極く近くにあるものを知ることである」と結ばれた。

午後1時より各委員会開催され、鶴岡クラブは次の通り出席した。

職業分類、会員選衡、雑誌	小池 繁治
社 会 奉 仕	五十嵐三郎
青 少 年 問 題	佐藤仁太郎
職 業 奉 仕	三浦岩治郎
国 際 奉 仕	小花 盛雄

3時より、ロータリーフアンド学生大内徳、米山奨学金学生劉承二の両君より報告と感謝の言葉あり。

次に出席優秀クラブの表彰に移る。

本県では	1位 山形西	3位 寒河江
	9位 天 童	10位 山 形

で本県の成績良好である。

本クラブの各位には一層の努力を傾倒し、成績を挙げる様期待する。

毎日新聞社長上田常隆が世界の二大努力と平和について有益なる特別講演があつた。

次期ガバナーは仙台南クラブの平島周太郎氏に決定。

6時より盛岡市体育館で晩餐会を開催盛大裡に終了。

9月10日9時より公会堂に於て委員会の決議報告、満場拍手をもつて賛成する。

決議事項は8件であるが、主なるものは

1. 国際ロータリー会長代理派遣に対して感謝の件
2. エビー会長年度計画に協力の件
3. 前地区ガバナー佐々木孝二郎君に対する感謝の件
4. ホストクラブ並に協力団体に対する感謝の件
5. 1963年国際ロータリー理事会が指名すべき理事候補に関する件（東京、東ヶ崎潔氏に決定）

次に次年度の会開催は仙台に決定。自由討議は「食糧と労力源としての東北」であつたが、時間少く途中で閉会する。

2時30分より数台のバスで小岩井農場視察、岩手富士と拡大なる農場を見聞し、雨に患されず6時盛岡駅で解散する。

雑 感

1. 婦人及び委員会に出席しない人はバスで市内名所を観光したが、私共6人は二台の車で十分市内観光をなし、盛岡市を認識した。原敬の墓に詣で在りし日を想起感慨無量。
2. 有名なワンゴソバを賞味したが、蓋をするより早く入れるのには驚いた。
3. 帰途花巻で金色堂に行く。ロータリー貸切列車、御座敷列車に同乗、北上まで40分。盛岡クラブの方々の歓待をうける。
4. 余興として地方色豊かな外山節（踊）、金山踊、鹿踊、鬼剣舞を披露され、本街、幡街の芸妓連、更に市内キヤパレーのホステスのサービスで毎日の疲れを医し得た。
5. 降雨の事を考え、ビニール傘800本を用意し、ホストクラブの婦人の方々連日サービスに最大の努力を払われた。敬意と感謝の意を表す。ホストクラブの皆様及び協力団体の最善の努力の結果盛大裡に終了したが、急に疲労されたのではないかと心痛限りない。

第352地区年次大会（盛岡）

部門別協議会～青少年問題～概況報告

（佐藤仁太郎）

△青少年問題は、鏡に映つる大人の姿。

△ロータリアンは、すべて青少年の模範なり。

青少年問題に関する各クラブの業績並に計画一覧

1. 青少年の情操育成に関するもの。
2. 身体障害児、精薄児、恵まれない児の援護。
3. 青少年の招待、慰問、激励。
4. 表 彰。
5. 奨学給費制度。
6. ワンダーフォーゲル運動。
7. ボーイ（ガール）スカウトの育成。
8. スポーツの奨励。
9. 青少年の国際交流の援助。
10. 青年会の後援。
11. 幼く青少年の後援。
12. 職業的情報の提供。
13. 個人の青少年奉仕。
14. 不良化防止に関するもの。

以上14項目につき各クラブの実態報告意見の交換があり更に提案議題に依り、協議いたしました内、

「仙台南クラブ」より

最近求人ブームに伴い、ゆく青少年の待遇、地位が向上して来たことは喜ばしいがその反面、引抜移動が頻繁に行われて、職業に対する神聖感や自己の属する企業への愛着心が薄れつつあることは、将来を慮ると寒心に耐えない。

ロータリアンとして何等かの方法を講ずることが出来ないものであろうか。

此の件につきましては「ロータリアン間」には、引抜はしないという協定を見ました。

「鶴岡クラブ」

ロータリークラブは青少年団体と、どの様な面で結び付きを求め更に之を強化すべきか。この提案につきまして、次回まで鶴岡にはどんな青少年団体があるのか報告を願つて、他クラブの活動状況の実態とにらみ合せ願ひ度いと結論を打出されました。

○小花国際奉仕委員長より

(1) 地区大会部門別協議会に出席して

リーダー 若林繁雄君(石巻)
出席者 31クラブより37名

リーダーが予め各クラブから提出された報告の中、特に活潑にして内容の充実した国際奉仕活動をしているクラブとして鶴岡クラブが選ばれ、最初にその説明を求められたので、姉妹都市及び姉妹クラブとして NEW.BRUNSWIC 市及び全 RC との結縁の動機から現在までの提携状況を詳細に説明、特に姉妹都市提携運動の展開と外国語の習得、特に会話力の増強の為、学生 生徒に対し英文による懸賞論文募集、英語弁論大会、英語劇開催の企画援助等の提案は、参加者から多くの共感を得た。因に区内で姉妹クラブの提携を見たものは当クラブが最初で、この外には青森東クラブが米国チャタヌーガ RC と今春より提携し、活動を開始したのがあるのみである。尚本部門で特筆したいのは、青森県下 9 RC 共同で東南アジア医師招待留学の件で 1ヶ月 2万円の経費で 3~6ヶ月 弘前大学に招き、研究させる事を継続事業としている事で、実に立派な国際奉仕だと思ふ。

(2) 地区大会を通じて

(イ) R・I 会長代理の小林雅一氏が御不自由な体をおして出席され、R・I 会長からのメッセージを伝えられたが、この真摯な態度には深く打たれた。尚メッセージも極めて意義深い内容だったので、一部を代読して会員に報告した。

(ロ) 地区大会決議案は八件あつたが、恒例的なものの外は 1963年 R・I 理事会が指名すべき理事候

補は、日本から東ヶ崎潔氏を推す事が決まつた。

- (3) 当クラブから NEW・BRUNSWICK に贈る TULIP 球根の米国農務省輸入許可書を送つて貰う様、高橋委員から MRS・MIGLIORINI に依頼状を発送した。

部門別協議会提出議題(社会奉仕)

五十嵐三郎

リーダー 山形 RC 庄司晋作

社会奉仕委員会の使命

1. 地域社会の改善をなすための企画をたて、これを発展させ、且つ完遂するにある。
2. 各ロータリアンが個人的、職業的、且つ社会的、生活に奉仕の理想を実行すること。
奉仕の理念(四つの理念)
1. 奉仕の一つの機会として、知り合いを広めてゆくこと。
2. 職業上の道徳的基準を高め、総べての職業の価値を認識せしめ、各ロータリアンにより權威あらしめること。
3. 各ロータリアンは、その個人生活、職業生活、社会生活の別なく、常に奉仕の理想を信衆すること
4. 奉仕の理想に結ばれた職業人の世界的親交によつて、国際間の理解と友情と平和を促進すること。

(A) 社会奉仕委員会の活動と運営について

1. 会員の少ない RC において、どの程度の小委員会を作るべきか(提出クラブより出席なく審議未了)
2. 小クラブでは仲々資金的に奉仕の困難さがある。金のかゝらぬ奉仕をお聞きしたい。(鶴岡 RC 提出) これに関しては殆んど当クラブでやつて居るもの以外目新しいものがなかつたが、他の例を 1つ記す。

イ. 市や営林局に呼びかけ、当局でやるように仕向ける。

3. 第352地区全般に亘る協固の社会奉仕を考えたい。(秋田東 RC 提出)

柳瀬バスターガバナー答える……社会奉仕は余りにも大きいことばかりを考えないで、もつと身近な足許のことを考えてやるべきである。

若しやるとすれば道徳標識を建てる……街から登山道

路。(4.5.6.7.は不必要につき除く。)

8. 継続事業を行うべき場合、独自に小委員会を作つてもいいか。その時ガバナーの許可を要するや(弘前RC)定款や細則にない小委員会を作る場合、そのことがRCの精神からはつれない場合は差支えないと思うガバナーの許可得れば申分ない。このような場合は必ず許可すると思う。

此の外植樹の場合等は、その後よくみてやらねば何んにもならない。ボーイスカウトに対しては出来る支援助してやつてほしい。

イ. 良い人間をつくるために等である以上。

クラブ奉仕B部門に出席して

小池 繁 治

B部門の協議は親睦、会員詮衡、職業分類の三つで、それぞれ下記のような討議が行なわれた。

◎親睦について……先ず親睦員の調達方法が各クラブからの解答に基いて分類された。それによると、

- 1) 予算化し、殆んど臨時徴収をしないクラブ
……25%
- 2) 全然予算化しないで臨時徴収するクラブ
……26%
- 3) 予算化しているが不足分徴収するクラブ
……49%

又会費について最高は弘前RCの一人当年37,000円(月に約3,000円)最低は喜多方RCの一人当年18,000円(月1,500円)

平均は27,900円となつている。因に当クラブは年21,600円(月1,800円)で、喜多方RCについて低額になつていた。

親睦の行事としては、結婚祝、誕生祝、その他スポーツ趣味の会、新年会、忘年会、クリスマス等大体同様の催しが多かつたが、たゞ珍らしいのは弘前RCの婦人部コーラス、婦人合同テニス、バレー試合でした。

◎会員詮衡について……種々の各クラブから出された問題について討議しましたが、根本となるものは、規則を適用すべきである事ではあるが、規則ではどうしても解決しない、又しにくい場合が出て来る。

その場合はロータリアンとしてのコモンセンスとグッドジャッジメントで解決していたぎたいとの事でした。

少くとも後々に憂を残すような事であつてはならないし、又ロータリーの規則はアメリカ法によるもので、日本の規則の様にドイツ法によつていないものでないか

ら自由な立場で解決し、コモンセンスをまじえた解決があつても良いと云われました。

但し規則の段階は踏んだ方が万一の場合問題が起らないでいいのではないかと柏原バスターガバナーの意見でした。

◎職業分類について……今日のR・I会長のターゲットactを充分考慮に入れた分類、詮衡する様、意見が出されました。

職業分類が一業にかたよらないのが規則であるが、それと同時に年令のかたよりもなるべくさげよう。よくバランスのとれた年代層でクラブを作つて、少くとも60年代の人も、20年代30年代の人も、共に楽しく過せるクラブを作つて欲しいとの助言が柏原バスターガバナーからなされました。

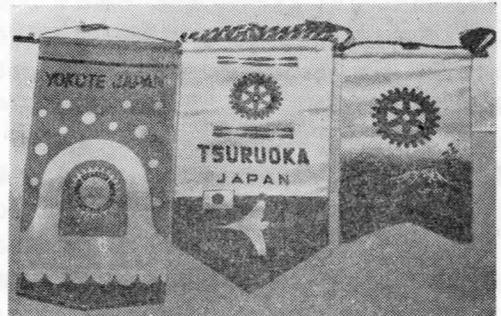
又テリトリーの問題が大きく出ましたが、当クラブには今の所全然問題がありませんので略します。

大体以上の様な問題がそれぞれ活潑な意見が出され、約2時間に亘り行なわれました。

〔大なる奉仕は 大なる利益を生む〕

○ニコニコ箱

1. 中台君遅刻
2. 菅原君誕生祝
3. 板垣君おくさんの誕生
4. 鈴木君早退



盛岡RC

横手RC

盛岡での地区大会の際交換して来ましたバナーです。殊に横手RCのは小花さんが乗換時間20分位の間に交換して参りました。離れわざの賜です。

○本日の献立

- 鯛、マグロの刺身
- カレイ焼
- トーフ、三葉の味噌汁
- 民田茄子漬